

動物愛護に関する取組みについて

令和6年（2024年）2月8日
令和5年度保健所運営会議
健康医療部生活衛生課

1 報告趣旨

本市では、人と動物との調和のとれた共生社会の実現に向け、市民及び飼い主に対し、動物の愛護並びに適正な飼養及び保管について必要な周知啓発を行う共に、ボランティアや獣医師等と連携し、動物愛護施策を進めています。

近年、超高齢化社会が迫る中、新たな課題が見えてきました。

これらの状況を踏まえ、本市における動物愛護に関する取組みについて報告します。

人と動物との調和のとれた共生社会

動物の愛護
適正飼養・保管
終生飼養

飼い主の
いない猫対策

2 周知啓発

(1) 現状・課題

○犬・猫に関する主な苦情
(令和4年度)

犬	295件
糞尿の放置	59%
鳴き声	14%
放し飼い	7%

・路上への糞や尿の放置や、放し飼い等、飼い主のマナーに関する苦情が多く、次いで、鳴き声(しつけ)に関する苦情が多い。



・無責任な餌やりや、放し飼いの猫による、近隣への糞や尿に関する苦情や、交通事故等負傷した猫に関する対応が多い。

猫	214件
餌やり・放し飼い	32%
糞尿の放置	19%
負傷	12%

犬は飼い主のマナーやしつけ、猫は飼い主のいない猫(野良猫)など、野外で過ごす猫に起因する課題が生じている。

(2) 講演会の開催

○飼い主のいない猫対策

令和4年度 飼い主のいない猫対策の科学的知見

田中亜紀

令和5年度 みんなで解決！猫トラブル～地域猫活動のすすめ～

黒澤泰

○適正飼養

令和4年度 愛犬の“困った”を解決するヒント～鳴き声や攻撃性を題材に～

堀井隆行

令和5年度 犬のしつけのアップデート～その常識、ウソ？ホント？～

堀井隆行

○猫のボランティア

令和4年度 猫のボランティア～小さな命のためにできること～

齊藤朋子・墨田由梨

令和5年度 猫のボランティア～さまざまなボランティアの形～

亀山嘉代

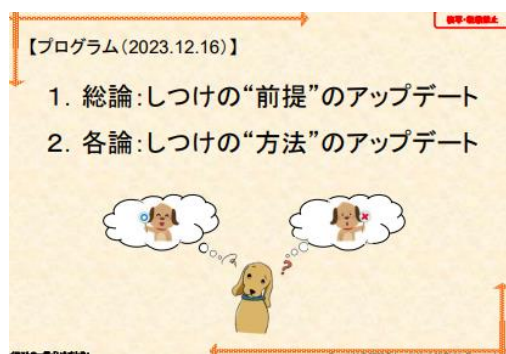
○その他

令和4年度 ー

ー

令和5年度 高齢犬猫とのつきあい方 ※東京都獣医師会八王子支部との共催

上條圭司



(3) 新たな課題への対応

～高齢者によるペット飼育と終生飼養～

日本の人口の4分の1が後期高齢者(75歳)となる2025年が迫る中、本市においても、相対的にペットを飼育する高齢者の割合が増えていると考えられます。

そのため、飼い主の病気や怪我などにより、ペットを終生にわたって飼養することが困難となった場合に対して、飼い主自身が備える必要性が高まっています。

	6期計画始期	7期計画始期	現状値	推計値	推計値
	平成27年 (2015年)	平成30年 (2018年)	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和22年 (2040年)
老年人口	139,609	148,846	152,830	155,196	168,236
うち前期高齢者人口 (65～74歳)	77,003	75,867	74,408	63,172	79,093
うち後期高齢者人口 (75歳以上)	62,606	72,979	78,422	92,025	89,143
生産年齢人口	353,515	347,417	344,870	343,611	284,309
年少人口	69,657	66,259	64,172	62,740	66,817
総人口	562,781	562,522	561,872	561,547	519,363

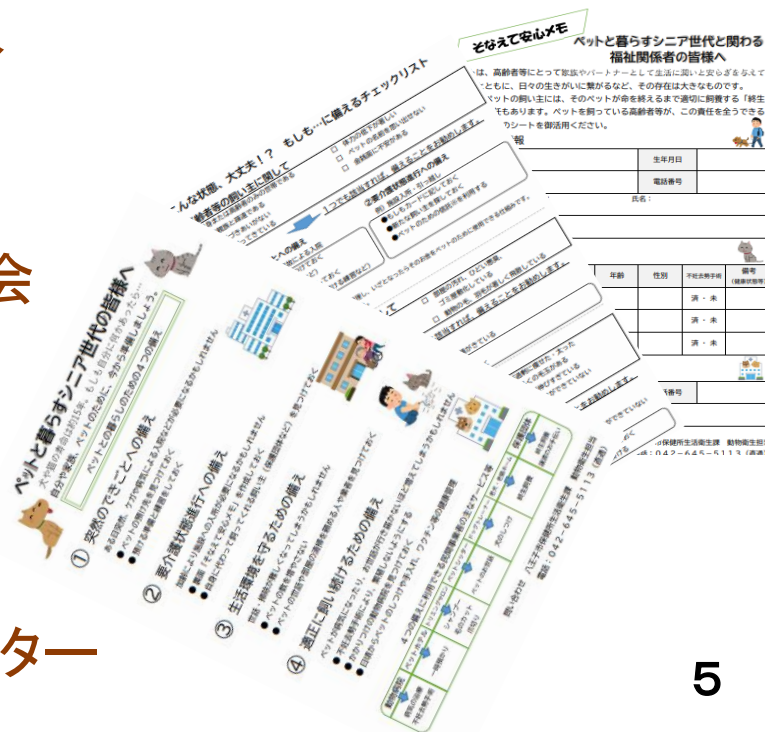
～高齢者によるペット飼育と終生飼養～

令和4年度にリーフレットを作成し、福祉部門の方々に御協力をいただきながら周知啓発を進めています。

- ・ペットと暮らすシニア世代と関わる福祉関係者の皆様へ
- ・こんな状態、大丈夫！？もしも...に備えるチェックリスト
- ・ペットと暮らすシニア世代の皆様へ

▶御協力頂いている福祉部門

- ・八王子介護支援専門員連絡協議会
- ・八王子市社会福祉協議会
(はちまるサポート)
- ・民生委員
- ・八王子市高齢者あんしん相談センター



3 飼い主のいない猫対策

(1) 現状・課題

無責任な餌やりや放し飼いは、交配による飼い主のいない猫の増加及び増えた猫による糞尿被害の拡大をもたらします。

加えて、猫が屋外で過ごすことは、猫にとっても、餌の不安や交通事故、感染症などの危険が伴います。

飼い主のいない猫への対策として、市民やボランティア団体の協力のもと、不妊去勢手術を進めると共に、新たに生まれた飼い主のいない、自活できない子猫の保護・譲渡を進めています。



	令和3年度	令和4年度	令和5年度
不妊去勢手術への助成件数	750	546	249
自活できない子猫の引き取り数	112	98	60
路上等での猫の死体回収数	349	314	135

(2) 不妊去勢手術

メスの猫は、1年に2回、1回につき4匹程度の子猫を産むことができ、生まれた子猫は生後6カ月程度で新たな子猫を産めるようになります。



飼い主のいない猫に不妊去勢手術を施し、捕獲した場所にリリースすることで、猫の繁殖を抑え、猫による被害の軽減と猫の殺処分の削減につながります。

耳のカットは、不妊手術済の印です！

ア 猫の捕獲器の貸し出し

イ 手術費用の一部助成（オス:4,000円 メス:7,000円）

ウ 公益財団法人 どうぶつ基金

「**さくらねこ無料不妊手術チケット**」を活用した手術の実施

エ 八王子市飼い主のいない猫対策推進協力員を設置

※市内で活動するボランティア団体を中心に、飼い主のいない猫対策全般に活躍していただいています。

（令和4年度～）



どうぶつ基金

さくらねこ
SAKURANEKO

(3) 飼い主のいない、自活できない子猫の保護・譲渡

市民からの情報提供により保護した、飼い主のいない・自活できない子猫は、殺処分される猫の減少を図り猫の適正な飼養管理の普及を目的に、「**八王子市猫の譲渡に関する要綱**」に基づきボランティア団体に譲渡しています。

ボランティア団体に譲渡された子猫は、譲渡に適した月齢まで育てられ、譲渡会などを通じて一般の方に譲渡されます。



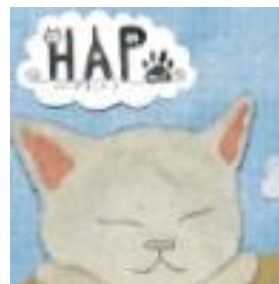
【登録団体】

- ・一般社団法人 はちねこ

主な譲渡会場：高尾はちねこ・はちねこカフェ・カインズ八王子長房

- ・八王子動物愛護会ネットワーク「HAPnet」

主な譲渡会場：サザンスカイトワー東側広場



4 “えきまえテラス”の活用

多くの人々が利用する東ユーロードに接続する立地を生かし、動物愛護等における情報発信や保護猫の譲渡会場としての活用を検討しています。

→令和6年度5月開催の健康フェスタで、動物愛護に関する周知啓発を行うと共に “えきまえテラス” での子猫の譲渡会を計画中です。

(於：東京たま未来メッセ)

引き続き、動物愛護
へのご理解とご協力を
よろしくお願いします。

